

はっぴこどもえん えんだより 2022ねん

8期：3月7日～3月31日



5歳児（オズの魔法使い）

社会福祉法人 種の会

幼保連携型 認定こども園 はっぴこども園

〒657-0855

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目3-14

TEL：078-805-3810

FAX：078-805-3820

携帯：080-3033-1952

Mail：hat@tanenokai.jp URL：<http://www.tanenokai.ed.jp/>

種の会 法人本部Mail：tanenokai@jupiter.ocn.ne.jp



- ★ 3月7日（月）より、新しい学年への移行が始まります
にじ組・そら組はグループを変更し、なぎさ組も、移行日より新しい幼児グループで活動します。詳しくは、お手紙やポップでお知らせします。
- ★ 3月12日（土）は卒園式・保護者懇談会です
今年も職員全員でかもめ組の子ども達を送りだしたいと思いますので、この日は出来るだけ家庭保育をお願いいたします。保護者懇談会は、卒園式後に ZOOM で行ないます。
- ★ 2022年度入園お祝い会は4月2日（土）に行ないます
今年度の入園お祝い会を欠席された方、途中入園された方は、ぜひご参加ください。

★ 2022年度の職員体制のお知らせ

理事長・園長：片山

副園長（園長代理）：藤原

主幹保育教諭：橋本・小松（なかはらこども園からの異動）

おひさま組：岡野・藤村・多々良（新任）・能宗

なぎさ組：梶原・山本・前田

にじ組：和泉・高橋

そら組：竹中　　かもめ組：中谷

フリー：福山・山岡・大嶋・福岡・平栗・笹井・飯銅・野口・山崎

広報&フリー：田中（はらだ乳児園からの異動）

給食：岩淵・近藤・岩元・榎田　　看護師：榎木

事務：浅原　　清掃：谷口・岡本

※22年度、原が「なかはらこども園」へ、澤根が「天王寺保育園」へ、
玉田が「元町はっと保育園」へ、それぞれ異動になります。

入職し、あっという間の16年。出会った子ども達、共に子育てさせていただいた保護者の皆様に、心から感謝しております。これからは、少し離れたところからになりますが、卒園した子ども達を含め、みんながどんなふうに大きくなっていくのか、引き続き見守らせていただきたいと思います。ありがとうございました。（原 康大）

はっとこども園で、可愛くて元気いっぱいな子ども達や、心温かい保護者の方と毎日楽しく過ごすことができ、たくたんの思い出を作る事が出来ました。はっとこども園で学んだ事を、天王寺保育園でも生かせるよう頑張ります。7年間本当にありがとうございました。（澤根 加苗）

半年という短い間でしたが、子ども達の可愛い笑顔と、それを見守る保護者の方々の温かい笑顔を見ることができ幸せな毎日でした。また、成長した子ども達が見られることを楽しみに、元町はっと保育園でも頑張ります。ありがとうございました。

（玉田 美紅）

素直に気持ちを切り替えて

園長 ^{かたやま} 片山

発表会に際し、開催日の変更などご理解とご協力を賜りありがとうございました。まん延防止措置が再び延長される中での発表会でしたが、より多くの保護者の方にライブでご覧頂くこと、昨年の皆様からの声を踏まえ、ライブ視聴が難しい方には動画配信し、より多くの方に子どもの姿（保育）を感じ取って頂くことを意識し、取り組んでまいりました。ご感想等お聞かせいただければと思いますし、今後も状況に応じた取り組みを実践していきたいと考えています。

当初の予定が変更されたことで、子どもも保育者も様々な想いを巡らせましたが、気持ちを新たに切り替えてやってきました。また開催の大幅延期によって、子ども達は昨年とは違ったプロセスを歩みました。特にそら組・かもめ組は歌・演技・踊りなど色々な場面で回数や時間をじっくり丁寧にかけることができ、ダンスオブハーツというプロの方々からアドバイスを頂戴し、子ども自身がもつ表現欲求（かっこいい・かわいい自分でありたい、誰かに見てもらいたい）が磨かれ、今まで以上に子どもの力を引き出すことに繋がったのではないかと思います。

家族に見守られながら舞台に立った子ども達は、うまく行って最高の気分を味わった体験や、失敗して苦い想いを味わった体験もそれぞれにあったことだと思います。それらのことはいずれであったとしても、子ども達にとって価値ある経験になっているのではないのでしょうか。

桜、チューリップの蕾が膨らみ、いつの間にか暖かい春がやってきましたが、世界情勢に目を向けると、ロシアのウクライナへの侵攻（ロシアの主張はウクライナによる虐殺に対する平和維持活動）によって、戦争が勃発してしまったようです。私は評論家でも専門家でもありませんが、政治的な駆け引き、経済制裁の応酬、複雑な利権争い、複雑な心情と心情のぶつかりあいがあることがメディアを通して伝わってきます。そしてロシアやウクライナの国民を含め「世界中の圧倒的多くの人々が望まない争いが始まり、多くの一般市民が犠牲になっている」という事実が存在しているのだと思います。そもそもロシアとウクライナは民族や宗教、言語の面で非常に近いうえ、旧ソ連時代はともに連邦構成国で、兄弟姉妹のような関係だったようですが、近年、両国の関係はうまくいっていなかったと報じられています。

このような大人の姿から子どもに何を想って何を伝えられたらいいのでしょうか。日々、子ども達は、集団で過ごす生活の中で様々な葛藤を抱く場面に出くわし、自己抑制することもあれば、感情が表出し、ケンカに至ることもあります。けれども大人よりも後腐れなく、気持ちを切り替える姿を何度も目撃しています。

発表会などの節目の行事のプロセスを通じてもこのような様子は発見されます。皆様におかれましても、心も体も1年前に比べて大きく成長した子どもの姿を感じ取ることができたのではないのでしょうか。子どもを見ていると、大人たちこそ成長しなくてはと勇気をもらいます。そして、1日も早く不幸な争いごとが収まることを願うばかりです。

成長していくこと

副園長 兼 主幹保育教諭 原^{はら}

今年度も残すところ僅かとなりました。思い返すとwithコロナとしてどのように過ごしていくか、前年度に比べて一歩進んだ形を模索していった1年でした。

通常通りの保育に全て戻すことは叶いませんでしたが、コロナの情勢を鑑みながら、幼児クラスの給食時のお当番活動や乳幼児交流など、取りやめていた活動を再開したり、2部制に分けて開催していた幼児誕生会を元の通り一度に集って催したりしました。そこで改めて、子ども達が集まり関わることで起こる、エネルギーの質の高さを感じました。子ども同士のやりとりの中で人間関係が育まれたり、異年齢での関わりの中で、上の子・下の子への眼差しが変わったり、生まれたエネルギーを糧にして成長している姿を見せてくれました。行事でもいろいろな工夫をしました。運動会は各クラスに分かれての実施となりましたが、その週明けに3歳児の仲間集めとふれあい・4歳児のパラバルーン・5歳児の組体操をお互いに披露し見合ったり、箱たおし・とんでくぐって・デカパンといったそれぞれの競技を異年齢グループで遊んだりして、憧れを抱いたり微笑ましさを感じたり、子ども達で刺激し合っていました。これも新しい生活の中での成長し合う場面となりました。生活発表会では、日にちを順延しての開催となり、保護者の皆様に予定を調整していただくこととなりました。ご協力いただき大変感謝しております。生活発表会までの道のりは険しく、当日に向けてどのようにお稽古を進めていくかとても悩みました。順延日までそのままやり続けるとやらされ感が溜まり飽きてしまったり、疲れてしまったりします。しかし、やらなさすぎると当日に一番いい姿を披露することが難しいからです。また、お休みして新しく覚えていく子達と園に来ていて積み重ねている子達のお稽古のバランスもとても難しく感じました。そのような中、必死で覚えようと友達の動きを見ながら一生懸命お稽古に取り組む子、息を合わせた動きができるように友達に教える子など、お互いに発表会に向けて、新しい学び合いの成長がありました。そして、5歳児は、生活発表会と卒園式との間が1週間しかない状況で、終盤は両方のお稽古をやっていました。ふと、劇の準備のために衣装に着替えている時に、卒園式の歌を友達と楽しそうに口ずさみ歌い合っている子ども達がいました。置かれている状況を楽しみに変換できる子ども達の能力の高さと、めざましく成長していく力強さを見せてくれます。

これからも、withコロナでの新しい生活を作っていく日々が続いていきます。それでもこの1年、子ども達は順応しながら楽しさを見だし、著しくそして伸びやかに成長し続けていきました。コロナ前より取り組みや行事が少なくはなっていますが、その分、新しい方法を考え、実施してきたことにより、子ども達は豊かに成長をし続けていますので、ご安心ください。

歩みを止めず、健やかに成長していく子ども達に、私自身もとても影響を受けました。私ごとではありますが、来年度から姉妹園のなかはらこども園に異動します。はっとこども園では、新卒から16年間お世話になり、そこで出会った子ども達、共に子育てさせていただいた保護者の方々、より良い教育保育を目指し研鑽し合った職員の皆には、とても感謝しています。今回の異動は、この経験してきたことを新しい場所で活かし、私自身、幅広い見方や感じ方、取り組みを実施できる成長の場として、機会をいただきました。子ども達の成長に負けないぐらい、そしてはっとこども園の成長に負けないぐらい、自身も新しいステージに挑戦し成長していきたいと思えます。



〇さい 1さい
おひさまぐみ

のうそう
能宗
やまもと
山本
おかの
岡野
まえだ
前田

〇歳児 8期 (3月7日~3月31日)

新年度へ向けた移行期

- 【ねらい】 冬から春への移り変わりを感じながら戸外遊びを楽しむ
好きな遊びを選んで遊ぶ
新しいクラスに向けて環境や職員に慣れていく
- 【領域活動】 戸外遊びで春を探す・クレパス・サーキット
コーナー遊び・微細活動(シール貼り・パズル・プラステン等)
- 【うた】 ♪うれしいひなまつり ♪おはながわらった 等
- 【わらべうた】 ♪こどものけんか ♪八兵衛さんと十兵衛さん
♪あんたがたどこさ 等
- 【食育】 ホットケーキ(3月)



成長

おひさま組専用のミニ園庭から、大きい園庭に遊びに行くようになり、更に子ども達の成長が著しく感じられます。総合遊具の丸太橋をはじめは揺れて怖い…と躊躇していた子もへっちゃらで渡れるようになっていたり、築山を保育者の手助けなしにたくましく登り下り出来たり。雪がちらつく日もありましたが、冬の寒さに負けず元気いっぱい身体を動かして遊ぶことが出来ました。

室内ではおままごとや人形のお世話が上手になっており、人形をおんぶして部屋を散歩したり、ハンカチの布団をかけてトントンしていたりと子ども達の言葉はないものの、人形への優しい眼差しを感じます。

異年齢で過ごす中で自然と生まれる思いやりの気持ちや、子ども達にはしっかりと育まれているのだと感じています。遊びを通して、“もの”や“人”を思いやることができるようにこれからも関わっていきたいと思います。



進級に向けて



今年度も残りわずかとなりました。この1年で大きく成長した子ども達の姿が嬉しく、頼もしさを感じています。4月はお座りもままならなかった子ども達が今では出来ることがたくさん増え、自分で靴下を履いたり、自分で食事をしたり、お友達と同じ遊びを一緒に楽しめるようになってきました。

進級にあたり、〇歳時の子どもは「おひさま組」の1歳児となります。移行は3月7日より徐々に行ないます。保育室の環境は大きく変わりませんが、はじめは現在の担任と一緒に過ごし、そこから少しずつ来年度の担任と入れ替わっていきます。4月ではなく1ヶ月前から徐々に移行していくことで、子ども達が安心して進級できるようにしています。

〇歳児の子は、朝のサーキットが始まります。巧技台を登ったり、平衡板を渡ったり、はしごを渡ったり、いろいろな運動遊びをする中で、様々な全身運動が経験できるようにしていきたいです。朝の活動やサーキットがあるため、9:15までの登園をお願いします。分からないことや不安なことがありましたら、いつでもお声掛けくださいね。

この1年間、子ども達の成長を側で見守ることが出来たととても充実していました。さまざまな面でご理解ご協力を頂きましてありがとうございました。



〇さい 1さい
みいさまぐみ

のうそう おかの
能宗 岡野
やまもと まえだ
山本 前田

1 歳児 8期 (3月7日～3月31日) 新年度へ向けた移行期

- 【ねらい】 冬から春への移り変わりを感じながら戸外遊びをする
新しいクラスに向けて環境に慣れていく
- 【領域活動】 戸外遊び (春探し)・新しい部屋でのコーナー遊び・クレパス・油粘土
微細遊び (パズル・ひも通しなど)
- 【うた】 ♪うれしいひなまつり ♪おはながわらった 等
- 【わらべうた】 ♪こどものけんか ♪八兵衛さん十兵衛さん ♪あんたがたどこさ 等
- 【食育】 ホットケーキ (3月)

机上遊び～指先が器用になってきました～

指先が器用になってきており、なぎさ組の机上のおもちゃを借りて遊んでいます。リモーザやモザイクボードでは、初めて触れた時は小さなパーツを混ぜて遊んでみたり、バラバラにしたりすることを楽しんでいた子ども達。だんだんとパーツを掴み指先の力を使ってはめ込んだり、穴を狙って挿すことができたりと集中して遊んでいます。また、色の認識ついてきて色を揃えて、並べ方を工夫することも出来るようになってきています。

また、ひも通しでは細い紐を片手に持ち、花はじきを穴にひとつずつ通しています。最初は穴が小さく上手く通せず「できな～い」と言っていました。コツを掴み一人で通せるようになってきました。「もっとする」と言っていくつも通して、長い作品が出来上がっています。



もうすぐなぎさ組



おひさま組の部屋で過ごすことも残りわずかとなりました。3月からはいよいよなぎさ組になる準備が始まります。乳児はワンフロアで、見合える環境になっています。おひさま組の子ども達は、なぎさ組に憧れがあり普段から「なぎさ、いきたい!」とリクエストがあり遊びに行っています。移行期では、なぎさ組の部屋で生活することで環境に慣れていきます。おもちゃに親しんだり、部屋の使い方を知ったりと安心できる場所になっていけばと思います。活動時間や給食の時間など生活のリズムも少しずつ変わっていくので、見通しを持って安心して過ごせるように関わっていきます。

1年間、一緒に過ごす中でたくさんの成長が見られ、毎日がとても充実していました。いろいろとご協力いただきありがとうございました。これからの成長も楽しみにしています。



2さい
なぎさぐみ

なかたに・ふじむら・ききい
中谷・藤村・笹井

8期（3月7日～3月31日）

【テーマ】 幼児の生活や遊びに親しむ

【領域活動】 ぬりえ（色鉛筆）

【うた】 ♪どんないろがすき ♪うれしいひなまつり ♪ゆきのこぼろず

【わらべうた】 ♪かごめ ♪いちにのさん

【食育】 ホットケーキ ～焼いている所をみて食べよう～

【栽培】 カブの水やり、収穫



鬼のお面作り

紙袋を使い鬼のお面作りをしました。角や顔のパーツをのりで自由に貼って作りました。のりの使い方も上手になってきていて、沢山つけるのではなく少しの量で貼る事ができていました。紙袋いっぱいを顔にしてみたり、口を反対に貼って笑っているようにしたり個性豊かな鬼になりました。自分で作った鬼のお面を見て「おもしろい顔になった」「可愛い鬼さんができた」と嬉しそうに見せに来てくれました。最後は毛糸で髪の毛を付けて完成しました。



ひも通し～靴下や手袋を作ろう～

画用紙で作った靴下や手袋に穴を開けてひも通しをしました。机に様々な色の手袋と靴下と毛糸を用意すると、好きな色のものを選んでいました。「黄色が好きだから黄色にする」や「ピンク可愛いからピンクにしよう」など色を決めた理由も教えてくれました。ジグザグに毛糸を通したり、2色の毛糸を使って通したりする姿がありました。1つ完成すると「次は先生の手袋作ってあげるね」と私達の手袋を作ってくれる子もあり、夢中で取り組んでいました。





かじはら ひらくり
梶原・平栗

8期（3月7日～3月31日）

【テーマ】春の訪れを感じよう

【うた】♪けんかのあとは ♪春がきた

♪はるのかぜ ♪ポンポンポンと春が来た

【絵画】冬野菜の絵画

【文字】しりとりあそび

【ふれあい】簡単なルールのあるゲーム遊び

【食育】冬野菜の収穫・クッキング

【園外活動】散歩（近隣の公園）

【異年齢活動】お別れ会・お別れ遠足



～ひな祭り製作～

デッキにひな人形が飾られると、前を通るたびにひな人形の前に座り込み「じー」と見つめる姿が見られました。♪うれしいひなまつりの歌もよく口ずさみひな祭りにどこかわくわくしている子ども達でした。おひなさまとおだいりさまの顔に注目し「怒っているかな、泣いているかな？それとも笑っているかな？」と子ども達と一緒によく観察し、クレパスで思い思いに描いていきました。その後は折り紙で服を作り、はさみで切った飾りをのりで貼っていきました。

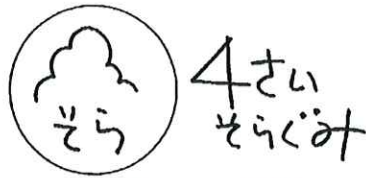


～生活発表会ありがとうございました～

12月から「3匹のやぎのがらがらどん」と「ともだちほしいなおおかみくん」のストーリーにたくさん触れ、キャラクターになりきって遊んだり、登場人物の気持ちを考えたりと、絵本からたくさんのイメージを膨らましました。様々な役を経験し、自分のやりたい役を選び、劇遊びに取り組んできました。舞台に立つことに喜びを感じながらも、沢山の人の前に立ち、ちょっぴり緊張したりなど様々な経験ができたと思います。発表会を通して子ども達の自信に繋がればと思います。

～1年間ありがとうございました～

4月から比べると、子ども達は身体も心も大きく成長しました。1年間、にじ組の子ども達と様々な経験をし、保護者の皆様と成長を一緒に喜ぶたことを嬉しく思います。そら組に向けてますます成長していく子ども達の姿を楽しみにしています。



いずみ
和泉

8期（3月7日～3月31日）

【テーマ】	春の訪れ
【絵画】	どんなチューリップが咲くかな
【製作】	卒園式の壁面の花作り
【うた】	♪ありがとうの花 ♪春が来た ♪みんなともだち
【クッキング】	冬野菜のみそ汁
【楽器遊び】	ピアノカ（音階を覚えよう）
【園外活動】	近隣の公園に散歩

カルタ作り

お正月の伝承遊びに親しむことができるように、カルタ作りをしました。くじ引きをして1人2つずつのひらがなを決め、それぞれ連想した言葉をつなぎ合わせて文章にし、その絵を筆ペンで描きました。みんなで会話しながら文章を考え、友達の考えた文章が面白くてみんなで笑ったり、思い浮かばない時には友達に助けってもらったりしながら文章ができあがりました。初めての筆ペンも使い方を伝えると、色を使い分けて筆先をつぶさないようにやさしく描いている子ども達でした。描いた絵を友達に見せて「この絵はなんだと思う？」などと楽しそうに話していました。うみの部屋の机上遊びにそら組カルタとして貸し出しをすると、カルタをしながら「ぼくが描いたのこれ!」「私のカードだよ」と、自分が描いたカルタを嬉しそうに指さしながら遊んでいました。楽しみながら、ひらがなという文字に触れることができました。

まめまめパーティー

節分から豆について興味をもった子ども達。栄養士に、大豆からたくさんの加工食品が作られていることを知りました。大豆の加工食品が入ったもの（どら焼き、枝豆、豆腐、きなこ餅、黒豆のおかき）を実際に食べました。チケットと食べ物を交換してバイキングのように、好きなものを順番で食べられるようにしました。どこに大豆が入っているか「甘い」「ふわふわしてる」など味について話しながら楽しく食べました。大豆について五感で感じることができました。





5さい かもめくみ

澤根・高橋

8期（3月7日～3月31日）

- 【テーマ】 はつとこども園での思い出を作ろう
- 【絵画・造形】 写真立て作り 楽しかったことを振り返ろう
- 【うた・言葉遊び】 ♪思い出のアルバム ♪ありがとうの花
♪ときどきどん！一年生 ♪さよならぼくたちのこどもえん
・マジカルバナナ
- 【食育・農育】 野菜の収穫 冬（白菜、水菜、九条ネギ）春（菜の花）
お鍋クッキング
- 【異年齢交流】 乳児クラスにお手伝い保育・フリーデー
異年齢お別れ会・異年齢お別れ遠足
- 【共同性・思考力】 CAP（子どもの人権について）
子ども達が考える週案（子ども達と話し合いをして決めます）



節分の日^に鬼退治！

2月3日の節分の日^にに鬼がやってきました。鬼が来る前から「今日鬼来るの！？」と、少し楽しみな気持ちの子ども達の姿がたくさん見られました。そして、子ども達が作った新聞紙の豆を持って、いざ鬼退治へ！園庭に赤鬼、青鬼が来ると「鬼は外！」と鬼にめがけてかっこよく豆を投げる子どもや、鬼が怖くて泣いてしまうかわいらしい姿などが見られました。鬼を退治すると「豆たくさん投げたよ」「鬼怖すぎた～」など子どもの声をたくさん聞くことができました。おやつには、恵方巻きで北北西を向いて食べました。「北北西を向いて願いごとを考えながら静かに食べると願いが叶うよ」と伝えると、願いを込めながらおしゃべりをせず食べている子ども達。節分を十分に満喫した一日となりました。

発表会に向けて

発表会に向けて毎日一生懸命お稽古をしていました。劇、合奏、ピアノ、歌と盛りだくさんで忙しい子ども達ですが、毎日の練習で「どう表現したらいいのかな？」「こっちの動きの方がかっこいいね」など意見を出したり、友達のアイディアに共感したり、劇を良くするためにみんなで考え、みんなで1つの劇を作ろうとする姿が見られました。その中で、自分の出番ではないときも“こうの方がいいね”と意見を言ったり、舞台袖から大きな声で歌ったりなど、とても意欲的でした。友達同士の関わりの中で共同性や主体性が芽生え、成長している姿を感じることができました。



つりのせいせい

やまが
山岡

はっことども園では、発表会のおけいこが始まる1ヶ月程前に“リズム検討会”という会が行なわれます。名前の通り、リズムを検討する会です。3、4、5歳児の担任が生活発表会の合奏曲を考えてきます。3歳児はカスタネット・タンブリン・鈴の3種類、4歳児は、その3種類にトライアングル、大太鼓、シンバルが入ります。5歳児になると、鉄琴、木琴、ピアノと種類が多くなり、計8種類になります。その楽器のそれぞれのリズムを持ち寄って音楽について少し知識がある職員が「もっとこうしたほうがいい」「このリズムは難しいかも」と意見を述べて検討します。そして、できたものを実際に職員が演奏し、それをビデオに撮ります。そこから子ども達は、そのビデオを観ながらリズムを覚えています。毎日午睡前に見たり、自由遊びに流してみたり…。そして観なくても全部の楽器のリズムを覚える子どもも出始め、合わせてみると、素敵な合奏になっている、という事になります。担任が必死にリズムを教えるよりも、職員が演奏している合奏を視覚的に観ることで、子どもはすぐに覚えます。5歳児の鉄琴、木琴は、楽譜が必要なので、何枚か用意して、練習できる時間を確保します。時には人数が複数になってしまい、実際に演奏しオーディションで子ども達に選んでもらう、ということもありました。「緊張した」と言う子どもがほとんどでしたが、逆に「選ぶ方も緊張した」という声もあり、演奏した子も、選んだ子も、貴重な経験をしました。

そして、生活発表会の劇では、強力なプロの“ダンスオブハーツ”が入ってくれます。フィナーレ曲の楽譜と歌詞を送ると、実際に踊っている動画を送ってくださいます。観ると「かっこいいけど…子どもたちには難しいかも…」とつい言ってしまうダンスですが、レッスンを受けると、ぐんぐん上達し、子ども達自身がイキイキして踊っています。時には、子ども達から「もう1回やりたい」とアンコールがおこることもあります。

今年は、劇の表現の中に“さすがプロ”と思ってしまうアイデアがたっぷり詰まっています。しっかり子ども達のなかに染み込み、演じてくれました。

子ども達全員でつくりあげた、生活発表会。大成功に終わりました。子ども達のがんばりをこれからも支えていきたいと思えます。



ほけんだより8期 (3/7~3/31)



看護師 ならき 檜木

寒さもだんだん和らぎ過ごしやすい季節となりました。3月は卒園の時期でもあり、子ども達は又新しいお友達との出会いにワクワク、ドキドキしていることでしょう。何かと忙しい時期ではありますが、免疫を上げ、コロナに負けない体を作りましょう。

<はっとこども園で今年1年間流行った感染症> (R3年4月~R4年1月まで)

ウイルス性胃腸炎9名 (4月に流行)

突発性発疹3名

アデノウイルス3名

手足口病14名 (9月に乳児で流行)

プール熱1名

流行性耳下腺炎1名

RSウイルス2名

溶連菌3名



<1月の耳鼻科健診で気になったところ>

今回の健診で耳垢閉塞の子どもさんが多く見受けられました。中には聴力に影響する場合もあり、耳鼻科でしか取れない状況もありました。子どもさんが「聞こえていないのでは」と、思われたら一度耳をチェックしてみてください。

*冬は乾燥による皮膚のトラブルが多い季節です。子どもの皮膚は大人の半分程度の厚みしかありません。そのうえ汗を分泌する汗腺の数は大人とほぼ同じです。だから「汗かき」状態になり、外界からの様々な刺激によりトラブルを起こしやすくなります。

<子どもの肌を守るためにできること>

- ①皮膚を清潔に保つ：お風呂ではごしごしこすりすぎない。
(汗をかいている時は肌着の交換、軽く押さえ拭きをしましょう)
- ②保湿を心がける：汚れを取り除いた後は皮膚が乾燥して湿疹がでやすくなります。
(保湿クリームの使用)
- ③爪切り：皮膚にトラブルがあると、かゆみが出てきて、無意識に掻いてしまいます。
(皮膚を傷つけない常に短く切っておきましょう)
- ④衣類：子どもは大人より体温が高いので衣類を着込みすぎるとかえって汗をかいてしまいます。
- ⑤皮膚のトラブルを起こしやすい要因として、ほこりや、ダニが原因の時もあるので注意が必要です。

ウェルネス体育遊び

体育講師 難波

まとめの季節になってまいりました。

5歳児のお友達は、はっとこども園での体育遊びも3月で最終となりますが、運動についてはこれからも続いていきます。今まで積み上げてきた動きの数々を、これからも活かしていけるよう取り組んでいきます。3歳児・4歳児クラスのお友達は、来年度に向けてまとめから、発展へと繋げていけるように取り組んでいきます。

【取り組みとねらい】

サーキット運動

○3歳児クラス

U型サーキット

- ・「走る」「押す」「ぶらさがる」「渡る」などの基本動作を確かなものにしていきながら、～しながら～するなどの1つの動きのなかで2つの動作を同時に行ない動作をまとめる。

○4歳児クラス

U型サーキット

- ・動作の中で子ども達の「課題意識」を芽生えさせる。
- ・ひとつひとつの動作を正確に行ない、勢いをつけるところ、勢いを抑えるところなど、動作によって区別ができ、こなすことができる。

○5歳児クラス

U型サーキット

- ・連続性、スピード、リズム、なめらかさ、タイミングなどの要素によって、動きをまとめていく力を身につける。
- ・複合動作③（上肢は～しながら、下肢は～して～するというように、ひとつの動作に上肢と下肢を同時に行なう）を確かなものにする。

ポイント指導

○3歳児クラス

- ・マット「前回り」⇒でんぐりがえりから起き上がりまで行なう。
- ・跳び箱「台上から～踏み切り開脚乗り」⇒台上から一旦踏み切りを行ない、すぐに開脚で跳び箱に乗る。
- ・鉄棒「つばめ～前回り下り」⇒鉄棒を持ったまま、前に回る。

○4歳児クラス

- ・マット「坂付き後転」⇒坂を使って後ろに回り、手の平でマットを押す。
- ・跳び箱「助走～開脚とび」⇒両足を揃えたところからすぐに蹴り返して足を開いて跳ぶ。ふみきり板で止まらず直ぐに跳べるように行なう。
- ・鉄棒「坂付き逆上がり」⇒逆さ感覚をつけて、蹴り上げを意識して行なう。

○5歳児クラス

- ・マット「側転」⇒足の振り上げを行ない、横に回る。手足を上手に使う。
- ・跳び箱「開脚とび」⇒両足踏切から、着地までを実施（安定した着地）。
- ・鉄棒「逆上がり」⇒蹴り足と、脇の引き締めを意識して腕支持まで行なう。